

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第28号(2017年4月10日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号 福山市立大学教育学部 倉盛研究室
TEL: 084-999-1111(代表) FAX: 084-928-1248(代表)

目次

- 1 ご挨拶
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第15回総会のご案内
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第43回研修会のご案内
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第42回研修会のご報告
- 5 編集後記

1 ご挨拶

日本臨床発達心理士会中国・四国支部
支部長・幹事 猪木省三

春たけなわの季節となりました。中国・四国支部の会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

支部長・幹事を務めております、広島県の猪木省三と申します。任期は本年度2017年度までです。

2003年4月に支部が発足して、早いもので14年が過ぎようとしております。この間、日本臨床発達心理士会の会員数は全国で約3500名となり、支部の会員数も250名を上回る規模となりました。これも、皆様からの多大なご支援、ご協力のたまものと感謝いたしております。

今回の会報でご案内しております通り、愛媛大学で、来る5月14日(日)の13時30分から支部総会、その前後の時間に支部研修会を開催いたします。支部総会は年に一度の支部会員の会合ですので、ぜひお出かけくださり支部の活動についての意見交換、情報交換に参加いただきたいと思います。昨年度の活動報告・決算報告、本年度の活動計画・予算案が主な議題となります。

一昨年9月に「公認心理師法」が公布され、平成30年には第1回目の国家試験が実施される予定です。現任者の受験資格の詳細などは、現在「公認心理師カリキュラム等検討会」において検討されています。近いうちにその結論が出される予定です。公認心理師についての情報は、随時、日本臨床発達心理士会からお知らせがあるかと思えます。また、支部ホームページにも「心理職の国家資格化(公認心理師)関係」のページ(<http://jacdpcs.org/shikaku.htm>)を設けて、関係の情報を掲載しております。

2017年の4月以降、支部研修会等での資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム(SOLTI)」で行われます。IDカードに貼付または印字されているバーコードを読み取り、参加受付をいたします。支部研修会に参加の際には、IDカードをご持参ください。お忘れの場合は資格更新ポイントの発行はできません。なお、参加記録ノートは不要です。IDカードにバーコードが貼付ま

たは印字されていることを事前にご確認ください。開催年度の会費を納付済であることを日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで事前にご確認ください。

これからも、会員の皆様のご支援、ご協力、ご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

5月14日(日)の支部研修会は定員に達しましたので、参加申し込みを終了しております。

2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第15回総会のご案内【重要】

2017年度中国・四国支部総会を次のように行います。ぜひご参加下さいませようご案内申し上げます。

1.日 時 2017年5月14日(日) 13:30~(30分程度)

2.場 所 愛媛大学教育学部1号館4階401教室

(〒790-8577 松山市文京町3番)

3.議 題

2016年度活動報告、2016年度会計報告、2017年度活動計画案、2017年度予算案、その他

4.アクセス(詳しくは、<http://jacdpcs.org/osirase.htm>をご覧ください。)



3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第43回研修会のご案内

5月14日(日)の支部研修会は定員に達しましたので、参加申し込みを終了しております。総会の前後の時間に、次のような研修会が開催されます。研修会参加者の取得ポイントは(1)区分2ポイント(6時間)です。

詳しくは、<http://jacdpcs.org/kenshu.htm>をご覧ください。

1.日 時 2017年5月14日(日) 9:30~12:30, 14:00~17:00

2.場 所 愛媛大学教育学部1号館4階401教室

(〒790-8577 松山市文京町3番)

3.講 師 大谷 多加志 先生(京都国際社会福祉センター発達研究所研究員・臨床心理士)

4.テーマ

「新版K式発達検査を活用したアセスメントと解釈の仕方」

概 要

公認心理師法が国会において成立し、第1回国家試験は、平成30年までに実施する予定となっています。このような情勢の中、私たち臨床発達心理士が、「発達支援」の専門家としての力量を高め、これからの社会に貢献していくためには、会員のアセスメント力を向上させ、対象児・者によりの確な支援を行うことが求められます。

そこで本研修会では、乳幼児から児童の発達検査として広く活用されている「新版K式発達検査」を取り上げ、京都国際社会福祉センター発達研究所の大谷多加志先生を講師にお招きし、アセスメントと解釈の仕方について、会員の皆様と一緒に学びを深めていきます。

今回は新版K式発達検査の実施法講習のような研修ではなく、検査で得られた結果をどう読み取り、実際の支援にどのように活用するかについて、具体的な事例をもとに、グループワークを交えた実践的な研修を行います。

5.参加費 500円

2017年の4月以降、支部研修会等での資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム(SOLTI)」で行われます。IDカードに貼付または印字されているバーコードを読み取り、参加受付をいたします。

支部研修会の参加にあたっては、以下の点をご確認ください。

- (1) 参加の際には、IDカードをご持参ください。お忘れの場合は資格更新ポイントの発行はできません。なお、参加記録ノートは不要です。
- (2) IDカードにバーコードが貼付または印字されていることを事前にご確認ください。
- (3) 開催年度の会費を納付済であることを日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで事前にご確認ください。
- (4) 開始後10分以上の遅刻をした場合及び終了10分以上前に退出をした場合は、資格更新ポイントの発行はできません。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第42回研修会のご報告

2017年2月12日(日)、愛媛大学教育学部2号館403教室にて、中国・四国支部第42回研修会が開催されました。「発達につまずきのある子どものコミュニケーション力を育てる支援」というテーマで、東 敦子先生(臨床発達心理士SV 児童発達支援センターのぞみ学園かめあり園長)によるご講演を賜りました。

まず、「ことば」がもつ3つの側面「Speech（音声言語）」「Language（言語）」「Communication（コミュニケーション）」についての説明があり、その後は「Speech」「Language」「Communication」の3つを講演の柱として、具体的な事例を交えながら丁寧に解説してくださいました。我々臨床発達心理士としては、この3つの中でも特に「Communication」の機能に注目し、子どもが伝えようとしているのは要求、拒否、報告、叙述、質問、応答…のどれなのかを深い視点で推察し、子どもの好きなものや伝えたいものを媒介にしてやり取りをすること大切さを強調されました。また、障害児に用いるAAC手段についての話題では、たくさんの種類のAACを紹介してくださいましたが、あくまでも「伝わる」ということを重視すること、複数の手段を併用すること、子どもの実態と成長に合わせてAACを選び進化させること、本人の利益になることを優先させること、という4つの重要ポイントを教えてくださいました。さらに、重度重複障害の子どもや自閉症の子どもに対するコミュニケーション指導においては、インフォーマルアセスメントの必要性・有効性についても紹介してくださいました。



本研修では、最初の段階で参加者からコミュニケーション指導に関する不安や悩み、質問等を発表してもらい、それを東先生が全て黒板に書き出し（約25個の質問や悩み）、講演を進めながら質問と関連がある内容の時には、必ず黒板に書いてあるそ

の質問に戻り、そこを詳しく解説するというような形をとりながら話が展開していきました。最終的に講演が終わる頃には、黒板に書かれた全ての質問に対して東先生が解説をされたという形になり、参加者の多くから「不安が解消された」「コミュニケーション力を育てる支援のポイントが見つかった」という声を聞くことができました。

参加者数は87名（支部会員が36名、他支部会員が2名、一般参加者が49名）、士会各支部主催の研修としての資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

5 編集後記

新年度も始まり、会員の皆様には、多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。本年度も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

支部からのお知らせは、日本臨床発達心理士会の会員情報管理システム S O L T I (<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/JOCDP>) を通じて、メール配信等を行いますので、メールアドレスや各種会員情報に変更がある場合は、ご自身で S O L T I の情報を最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

会員にかかわりのあるトピックスや最新の情報、研修会などのご案内、支部会報のバックナンバーなどは中国・四国支部ホームページ (<http://jacdpcs.org/>) に掲載しております。

中国・四国支部の各地域で事例検討会等を開催される場合、中国・四国支部から補助金を支出いたします。詳しくはお問い合わせください。また、支部研修会で取り上げる内容や実施の方法等についてご提案がありましたらお知らせください。担当役員において検討いたします。その他、支部への問い合わせ、情報提供等も、以下の中国・四国支部連絡先までお寄せください。

中国・四国支部連絡先：info jacdpcs.org ご利用の際は、 を@に変えてください。

(編集委員会)